

平成26年度  
まちづくり懇談会  
(区長との意見交換会)



本日は、「区長との意見交換会」に出席いただき、ありがとうございます。

各地域の現状や問題点などについて意見交換を行い、「誰もが安心して住み続けたいと思えるまち」を町民の方と協働で創りあげてまいりたいと考えております。

## 次 第

- 1 開 会
- 2 代表区長あいさつ
- 3 町長あいさつ
- 4 出席者の紹介／日程説明
- 5 主要な事業説明（まちの話題）
  - ①新庁舎建設 . . . 1
  - ②地域公共交通 町バス . . . 2
  - ③地域防災の充実 . . . 3
  - ④医療費の推移と予防 . . . 4・5
  - ⑤子育て支援 . . . 6
  - ⑥資源の有効活用と環境保全 . . . 7
  - ⑦自主財源の確保 . . . 8
- 6 懇談・意見交換
- 7 閉 会

### 懇談の目的

よりよい「**まちづくり**」のために . . .

地域で抱える問題や町の最新の情報を共有し、意見交換を行い、町の行政運営に反映します

頂いたご意見は . . .

町で直ぐに出来ることは取組みます  
地域との協働を図りながら町政に活かします

# 新庁舎建設



(完成イメージ図)

## 庁舎本体概要

構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上2階建て（一部4階）
延床面積	4,643 m <sup>2</sup>
建築面積	2,769 m <sup>2</sup>
敷地面積	12,763.62 m <sup>2</sup>

## 請負業者及び金額

請負業者	株式会社 島村工業
請負金額	17億7,876万円（うち消費税等1億3,176万円）

## 今後の予定

庁舎本体工事以外にも倉庫や車庫などの付属施設や外溝工事、町民会館の北側駐車場の整備なども実施してまいります。

	平成26年度						平成27年度											
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
本体工事	→																	
外溝工事							→											
付属設備							→											

# 地域公共交通 町バス

未来の移動を考えテスト運行中

鉄道のない当町の交通手段として、既存の民間路線バスとの共存を図りながら、川島町に合った公共交通の充実を図るため、昨年12月よりテスト運行を行っています。この事業は、国の地域公共交通確保維持改善事業として、補助をいただき実施しているものです。

なお、検証を図りながら、当町にあった地域公共交通となるよう見直しを図ってまいります。



## テスト運行の輸送形態は2つ

### リレーバス (通勤・通学などに)

バス停から遠いため、路線バスを利用しにくいのかたの朝・夕の通勤・通学時のバス停までの移動にご利用ください。

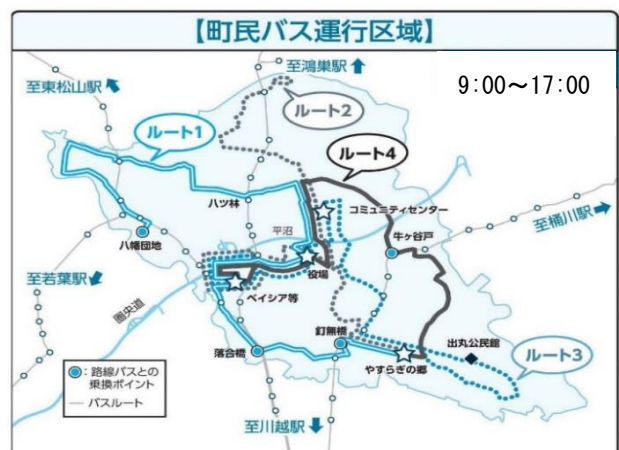
- 朝・夕の時間帯に路線バスのバス停まで運行



### 町民バス (買い物などに)

高齢者など交通弱者のかたの町内の移動にご利用ください。

- すべてのバスは、役場、コミュニティセンター、ベイシア、カインズ、やすらぎの郷を經由
- 同じルートを1日2回以上運行



### 既存バス停の整備



主要なバス停の整備を実施しています。利便性を良くするために、待合所や自転車置き場など整備可能なバス停から実施しています。

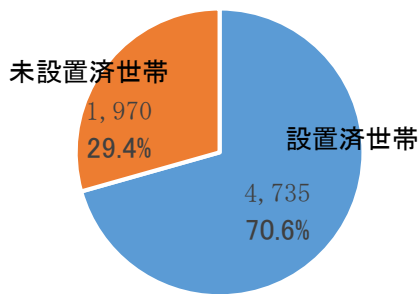
# 地域防災の充実

～ 安全・安心なまちづくりに向けて ～

## 自主防災組織の設置（100%の設置を目指して）

自主防災組織とは、「自分たちの地域は自分たちで守る。」という連帯感に基づき、地域の方々が自発的に、安否確認、救出・救護、初期消火、集団避難、給食・給水などの防災活動を行う団体（組織）のことをいいます。

世帯数別設置状況



大地震などの災害が発生した場合、安否確認、消火活動、避難所の設置など様々な行政需要が発生することが予想され、行政がすべての住民まで手がまわらないことも予想されます。

このような事態の時、地域の方々が自主的に協力して、被災者の救出・救護、初期消火など、災害に対処することが、地域の被害を少なくすることができます。

阪神・淡路大震災では、倒壊家屋などから救出された人の約8割が近所の方々により救出されたという報告もあります。

このことから、地域の方々が、自発的に防災組織を結成し、日ごろから、地震などの災害に備えた防災活動を展開していくことが重要であるとお分かりいただけると思います。

町では、100%の設置を目指し、川島町防災アドバイザーによる活動支援も行っています。

## 災害時に有効な「かわべえメール」

「かわべえメール」に登録すると、防災状況や防犯状況など、町からの情報を迅速に受け取ることができます。ぜひ、登録をお願いします。

詳しくは、299-1753 総務課まで

[bousai.kawajima-town@raidan.ktaiwork.jp](mailto:bousai.kawajima-town@raidan.ktaiwork.jp)



### 登録方法

下記のURLに空メールを送り、画面の指示に従って登録してください。



## テレ玉のデータ放送

テレ玉（テレビ埼玉）のデータ放送を利用して、町の防災・防犯状況など情報提供を行っています。



データ放送を見るには

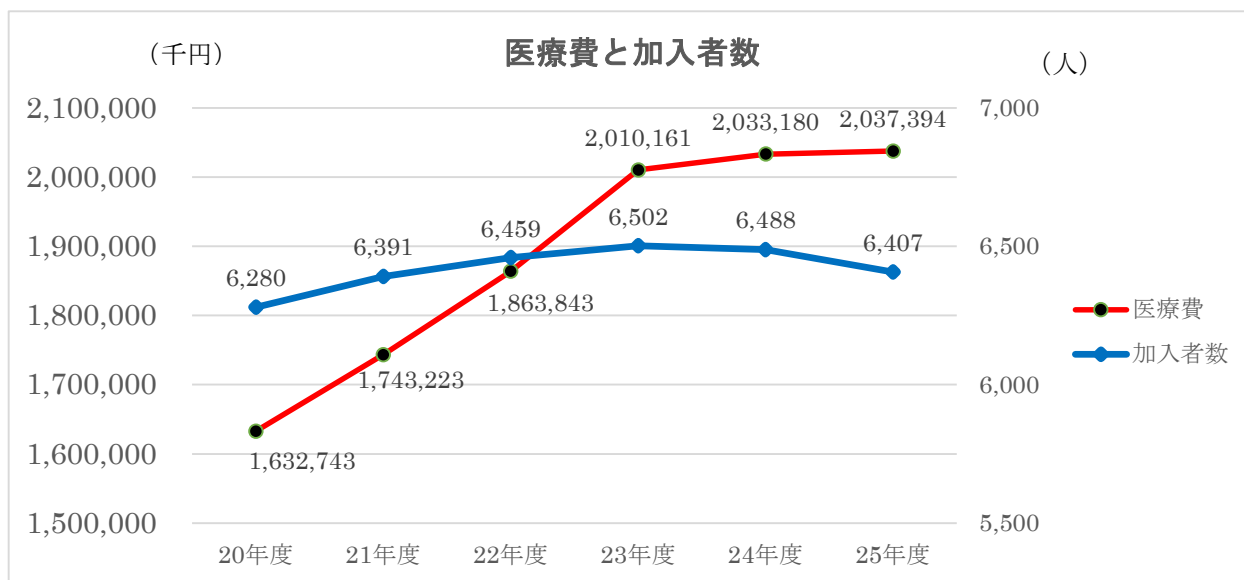
- ① チャンネルをテレ玉（3ch）に
- ② リモコンの「dボタン」を押す
- ③ 「川島町からのお知らせ」を選び、「決定ボタン」を押す

# 医療費の推移と予防

## 国保医療費は平成 20 年度に比べ 4 億 4 百万円（24.8%）の増加

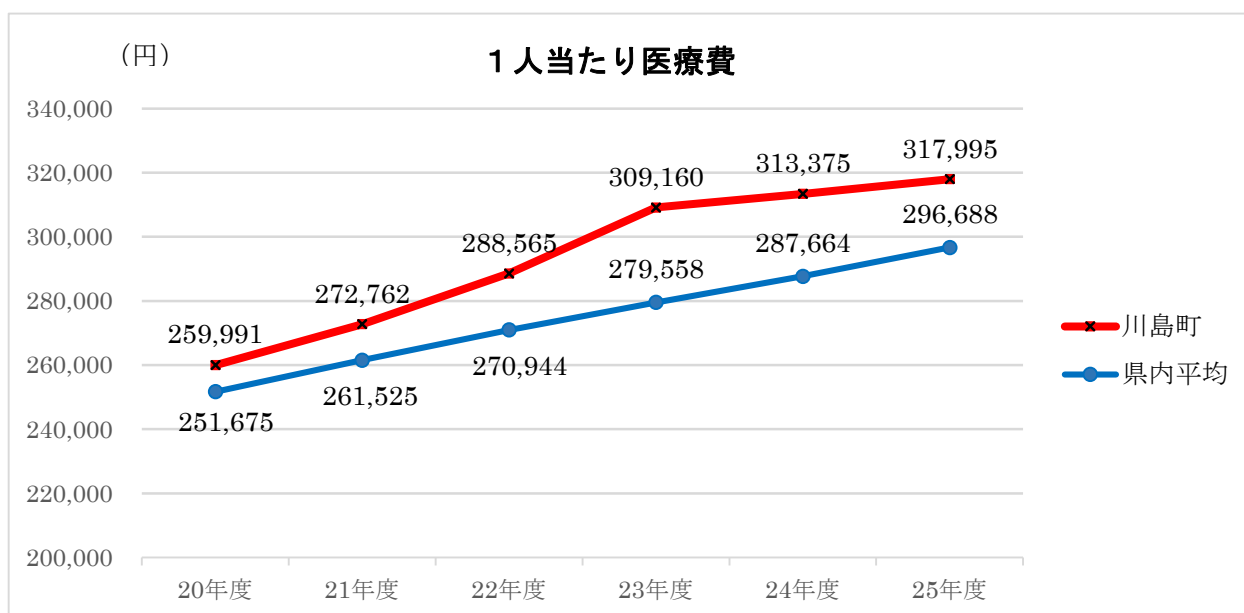
現在、町内の約 3 割の方（6,400 人）が国保に加入されています。1 年間にかかる医療費は、加入者数が差ほど変わらないのに、平成 23 年度より 20 億円を超えている状況です。

国保は、加入者の保険税と国・県・町などの負担により運営されているため、医療費の増加と伴に加入者の負担も増加せざるを得ない状況です。



## 1 人当たりの医療費、県内平均を大幅に上回る

1 人当たりの年間医療費は、平成 25 年度で 31 万 8 千円、県内平均の 29 万 7 千円よりも 2 万 1 千円も上回っています。これは、年間で見ると 1 億 3 千万円以上も多いこととなります。1 人当たりの医療費が高い前期高齢者の方の割合と入院医療費が県平均よりも高くなっているのが主な要因であります。



## 国保を抑えるためには、医療費の適正化

加入者が主体となり、相互扶助で運営されている国保では、いかに医療費を抑え、1人当たりの医療費を少なくするのがポイントになります。

医療費の中身を見ると、入院治療費が多くなっています。これは、病気の発見が遅れ、重篤化した状態で初めて医者にかかる傾向が強いことが伺えます。

予防と早期発見で医療費の適正化を図りましょう。



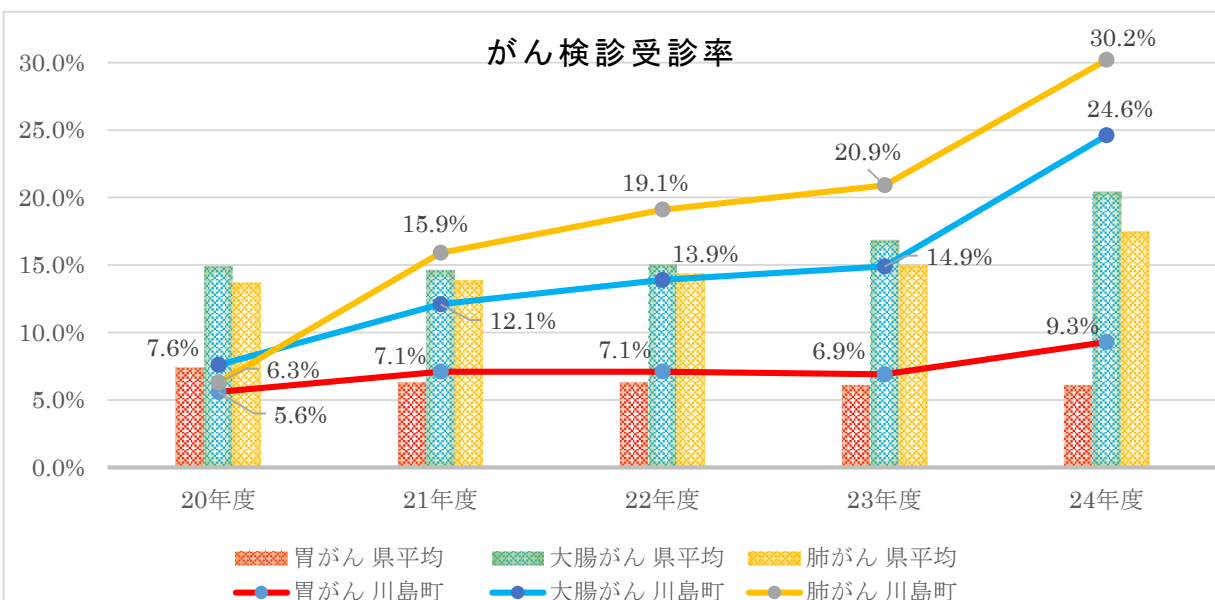
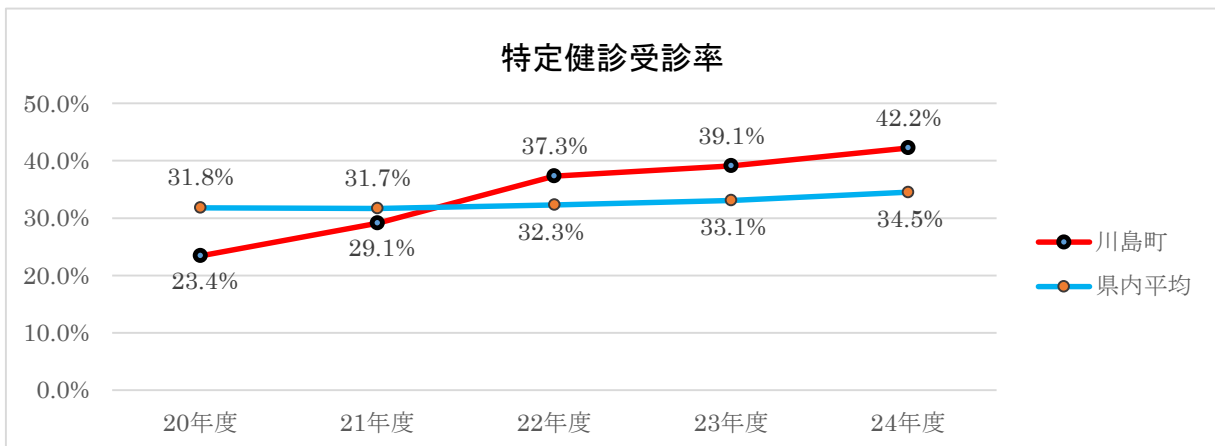
## 大切なあなたを守る健（検）診

町では、1人ひとりの予防と病気の早期発見に向け、健（検）診に力を入れ、医療費の縮減に向け努力しています。

特定健診の受診率が県平均を上回った翌年度をピークに医療費の伸びは、少しずつ緩やかになっています。これは、特定健診の効果が少しずつ現れているものと推測されます。

車に定期点検があるように、お身体の点検も定期的に受けましょう。特に早期がんは、体や心、経済的にも負担が少ない治療ですみます。

予防事業や健（検）診の成果が出るまでには時間がかかりますが、根気強く実施してまいります。



# 子育て支援

## 子育て支援課を創設

子育て支援の充実に向け、25年度より「子育て支援課」を創設、「川島町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、きめ細かいサポートとサービスで子育てのしやすい環境整備に努めてまいります。

また、閉園となる川島幼稚園の施設を活用し、児童館や子育て支援センターとして整備してまいります。

## 負担の軽減

### 第3子以降の保育料無料化

第3子以降の児童の保育園料を無料にし、子育て家庭の負担を軽減しています。

### 中学生までの医療費全額助成

中学校3年生までにかかった医療費の自己負担額は全額助成し、子育て家庭の負担軽減と子どもの健やかな成長をサポートしています。



### 若者の住宅の固定資産免除

H25.1.2～H30.1.1までの間に若者（40歳未満）が新築または取得した住宅の固定資産税を5年間免除しています。



子育て応援

## その他の支援事業

リフレッシュ

さくら保育園内にある川島町子育て支援センターでは、親子教室の実施、子育てに関する情報の提供や電話相談、面接相談、子育てサークルの育成や講演会などを行っています。

また、出産等に伴い里帰りしている方への一時預かりを含めた一時保育事業も実施しています。

風邪などの病気で保育園や小学校に行けない時や、保護者の方の通院やリフレッシュの際などに、送迎やお預かりをする緊急サポート・ファミリーサポートも実施しています。

学童保育は、川島幼稚園内に「かわじま学童クラブ」を開設し3か所となり、働く保護者の皆様や子どもたちの安全安心のための更なる支援をしてまいります。



# 資源の有効活用と環境保全

## 農地の集積化



町の基幹産業である農業は、後継者不足や高齢化により耕作放棄地が増加してきています。

このため町では、県が設立した「農地中間管理機構」を利用し、農地の集積と集約を積極的に行い、有効活用を図ってまいります。

## 空き家バンク制度

人口減少に伴い空き家が増えつつあります。その反面、田舎暮らしに興味を持っている方も少なくありません。

そこで、空き家を「貸したい人」「売りたい人」などの物件情報を収集し、移住者向けに情報提供し、定住に繋げるよう「空き家バンク制度」を創設しました。より多くの情報発信をするためにも宅地建物取引業協会とも連携をして進めてまいります。

## 環境の保全



きれいな河川を目指し、合併処理浄化槽の設置を促進し、設置率が9割を超え、県内でもトップクラスとなりました。

清流と美しい川を維持するために、設置後の維持管理にも1基あたり上限15,000円の補助をし、環境の保全に努めてまいります。



環境負荷低減のため、町内全域の防犯灯のLED化を実施し、3年目となります。

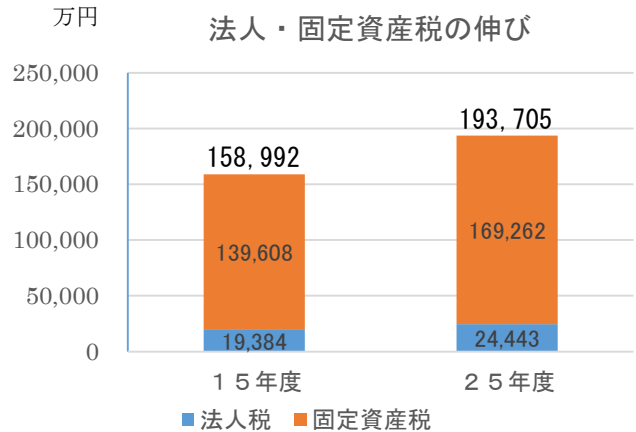
今年度ですべての防犯灯2,680基がLEDとなり、環境負荷の低減と電気料の削減に努め、年間約4百万円の削減効果が見込まれます。

# 自主財源の確保

## 川島 I C 産業団地

平成 20 年 3 月、圏央道川島 I C の開通に伴い、この立地条件を活かし産業団地 47ha の整備を行い、現在 11 の企業が稼動しています。

その結果、自主財源である法人税や固定資産税が大幅に増加しました。



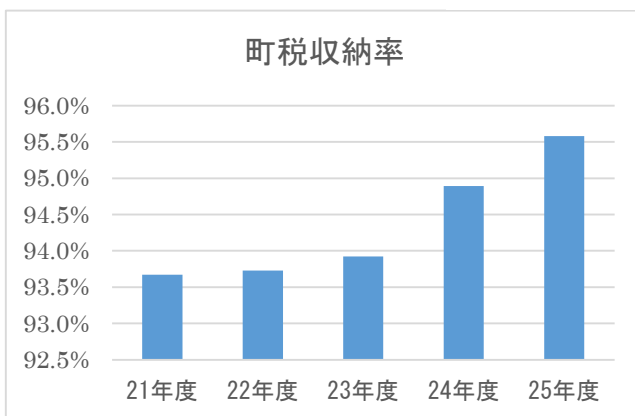
## 更なる自主財源の確保に向けて



圏央道は、中央道、東名高速と繋がり、今後、東北道、常磐道への接続、全区間が開通すると成田空港、横浜港へのアクセスも向上、更なる物流の拠点としてのニーズが高まっています。

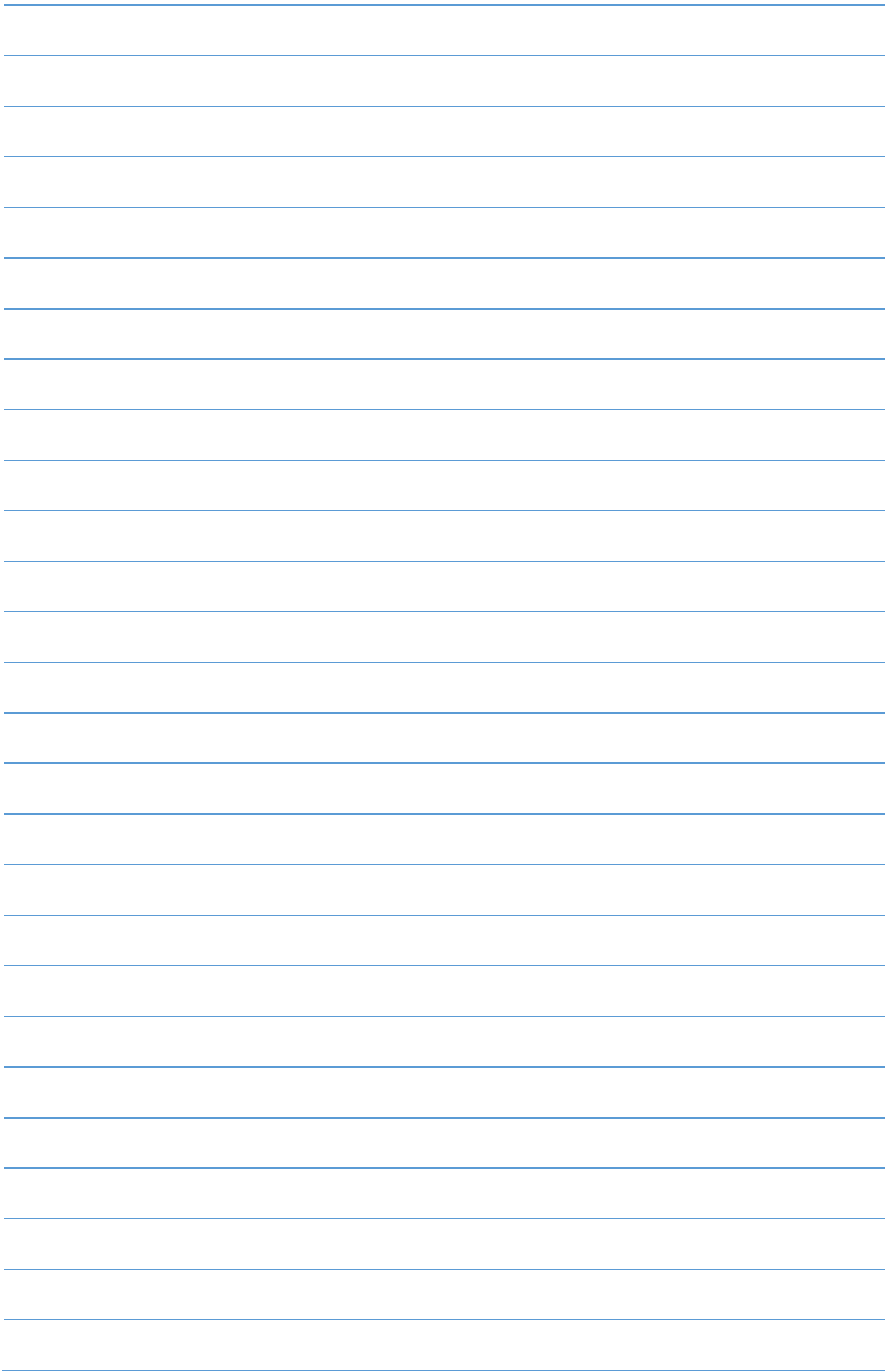
こうした中、川島 I C から 1km 離れた上伊草の三島地区に 6ha の物流・工業系の土地利用を図るべく進めています。

## 収納率の強化



現年課税分の収納率の向上に向け、コンビニ収納や差押さえの実施とともに特別徴収の指定強化を図り、収納率を上げ、税収の確保に努めております。

どうせ買う「タバコ」なら、町内で買しましょう。  
25年度のたばこ税は 1 億 7,600 万円 !



平成 26 年 8 月 20 日現在

川島町政策推進課 秘書グループ

川島町大字平沼 1175

T E L : 049-299-1751

F A X : 049-297-6058

E-mail:seisaku@town.kawajima.saitama.jp